

9月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川:左右岸 0.0km~7.0km
			管轄出張所:安城出張所
実施日	令和 5年 9 月 1・3・12・14・27 日	実施区間	上塚橋から河口

2023. 9/3. 14. 27
環境に関する報告

矢作大橋から河口周辺まで(右岸)



9月3日

愛知県指定の天然記念物であり、絶滅危惧種にも指定されているハマゴウが高水敷きで発見した。

愛知県が北限とされる海岸に生える塩生植物であり、ハイビスカスに似た黄色い花を咲かせている。

9.14 近くで、若木を見つけた。

9.27 たくさんのタネをつけていた。

※刈り取らないようにお願いしたい。



ハイビスカスに似た花



若木を数本確認



タネをつけていた

2023.9.12



ハイビスカスに似た花



オオキンケイギクの咲き終わる6月頃、サクラ堤にある駐車場、(高水敷)、に特定外来生物であるハルシャギクが大繁殖していたがその後、除草剤を使用したような不自然な枯れかたをしていたことを7月に報告している。9月には雑草が生え始め、見た目の景観は回復してきている。

当初は、ハルシャギクが優占種となり独占的な植生をしていたが、現在はイネ科やカヤツリグサ科の植物が目立つ。安城出張所に確認したが、除草剤等は使用していないとのこと。原因は不明のまま。

9月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川:左右岸 0.0km~7.0km 管轄出張所:安城出張所
実施日	令和 5年 9 月 1・3・12・14・27日	実施区間	上塚橋から河口

2023.9 環境に関する報告



アシ原として再生中のワンド

9月14日 上塚橋から中畑橋まで(左岸)
上塚橋下流側で、ヨシ原の再生事業が行われていることを知り、造成されたヨシ原およびワンド周辺を散策した。
大雨で、せっかく移植したヨシの苗木の一部が流失していた。
土砂の堆積した河口部は外来植物の宝庫となってしまうため掘り下げてヨシの生える環境を創作する面白い試みである。多くの生き物が棲める場所となつてほしいと願っている。



過去にアシ原再生された場所



タコノアシ(準絶滅危惧種)

9月14日 上塚橋下流 (左岸:西尾市側)
タコノアシという河川の河口部にしか生えないタコノアシもあると聞き探してみました。
秋が深まると花茎が反り返り紅葉して赤くなりタコの足に似たようになる。
まだ9月中旬なので白い花を咲かせ、葉や茎は青々としていた。



雑草が枯れている表法面(8月)



枯れていた雑草が回復(9月)

9月27日 中畑~棚尾橋(右岸)
8月には、河口から3.4km~下流側、堰堤裏法面と表法面、不自然に草が枯れていたが、9月には回復してきている。安城出張所に確認したが、除草剤等は使用していないとのこと。

9月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川:左右岸 0.0km~7.0km 管轄出張所:安城出張所
実施日	令和 5年 月 1・3・12・14・27日	実施区間	上塚橋から河口

2023.9. 不法投棄に関する報告



危険な鉄パイプの階段



既に注意喚起がされていた



散乱した三角コーン

9月1日 西尾市河口部(左岸側)
河口部に鉄パイプで作られた危険な階段を見つけた。既に警告の張り紙があった。
周辺に注意喚起のためと思われる三角コーンが散乱していた。



9月3日 矢作大橋から河口部(右岸側)
河口部にあった大型家電はまだそのままであった。
一部水際を歩くことが出来たため歩いてみると、漁業者が放棄したと思われる梯子や水桶が見られた。
これまで何度もこのあたりを歩いているが、草を掻き分けて中まで入らないとみる事ができない。
9月27日に再度確認に行ったが水桶・橋がは残されていた。大型家電については、階段が無くなり
人が入らなくなったため、腰より雑草が高く繁茂し確認に行くことが出来なかった。



木の下での不法投棄



片付けられていた



新たな不法投棄 家電



新たな不法投棄 マット

9月27日
不法投棄の注意喚起の張り紙がされたゴミは全て片付けられていた。
2.6~2.8kmあたりの秋の除草作業が始まっていた。
せっかく不法投棄物が片付けられたばかりで、しかも除草されたばかりのきれいな表法面に家電製品とベットのマットレスとおもわれる大型の不法投棄物があった。